

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名 (地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
白鷹町	高岡地区 (高岡)	令和4年3月4日	令和5年3月29日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	108ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	58ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	4ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	3ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	3ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	5.03ha

注：④の面積は、以下の「5 中心経営体」の「備考（今後引き受ける意向のある耕作面積）」欄の合計の面積を記載します。

2 対象地区の課題

水田については、自家用飯米の農家が多く、当面は各農家での維持を図っていくが、将来的には担い手の農地集積に協力していく。高品質のリンゴは、基盤整備がカギとなる。基盤整備、団地化、また、就農直後からの収穫が可能となる体制作りを進めていく。遊休化している農地については、中間管理事業の活用により集約化と耕作放棄状態の解消を進め、農地の高度利用を目指す。

注：「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載します。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

田畑については、中心経営体（主に株式会社サンファーム、大瀬高一氏）で担っていく。
果樹園地については、主に果樹を経営している中心経営体で担っていく。

注：「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と町が判断する集落営農及び町の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。